



事業者向け

令和5年度 自己評価表 集計表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%			活動内容によって適した部屋の使い分けを行っています。
	2	職員の配置数は適切であるか	85%	15%		「児童10人に対して2人以上の指導員」という国の配置基準以上の人員配置を常に行っています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	75%	25%		建物の特性上、完全なバリアフリー化は困難になってしまっていますが、その分各職員、安全確保に対する意識を強く持って対応しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか	75%	25%		朝のミーティング時に行っており、午後出勤や支援等で全員が参加できない時もありますが、補えるよう毎月数回別途ミーティングの機会を設けています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			保護者様向けの評価表の活用とモニタリング後の会議等で把握し、業務改善を行っています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%			施設玄関に入室し、すぐ正面に掲示しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	50%	50%		第三者機関としての外部評価はありませんが、保護者様、相談事業所、他事業所とのケース会議の機会を通して改善につなげています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	70%	30%		日時によって参加できないこともありますが、動画視聴、ウェビナー形式の研修や市の子どもプロジェクトへの参加をしています。

適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			利用に際しての見学・体験・契約時に保護者面談を行いニーズを把握したり、行動観察を記録し、個別支援計画を作成しています。また利用後も児童発達支援管理者による保護者面談を行い、子ども達の日々変わる発達状況を把握し、支援に活かせるようにしております。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%			面談の際にインテークシートを用い、子どもの発達状況、適応状況を正確に把握し、個別支援計画作成に活かしております。医療機関等による発達検査や知能検査の結果を保護者に提供して頂いております。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%			児童発達支援管理者、管理者を中心に月案を元にその日にあった活動立案を行っております。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%			リズム、外活動、ゲーム等、大まかな活動は固定化されてしまっている部分もありますが、その中で季節に応じて変化を取り入れたり、ルール、難易度の調整等の工夫を行っています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100%			各課題については朝礼時や毎月数回の会議時に全体でよく話し合い、児童一人一人に合った支援をしています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成しているか	100%			3Fでは各自課題、2Fでは集団活動と活動場所を明確に分け行い、その時の状況に応じチーム分けを行うようにしています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			特記事項として共有が必要なものを除き、基本朝のミーティングを行い、利用児童の確認、送迎、一日の流れや活動プログラムの確認、支援方法の確認を行います。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			その日の活動や状況を業務日誌にて毎回記録しております。
18	定期的にもモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			事業所で見直しの必要性の意見があがった場合、保護者様から必要性が見られるとのご意見があった場合、モニタリング月以外でも見直しを行っています。	

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	100%				児童発達支援、放課後等デイサービスのガイドラインを職員間により周知していき、組み合わせ、工夫により良い支援をしていきます。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%				基本的に児童発達支援管理者が参加し、状況に応じて管理者や児童指導員も参加しております。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100%				行事予定、下校時刻表のお預かりをしています。保護者、学校と話し合い、送迎時の注意点や時間の確認を行っております
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか					※無該当
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100%				必要に応じて各機関との情報共有を行っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか					※無該当
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	75%	25%			研修の日時等によっては参加できないこともありますが、積極的に参加させていただいています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	25%	50%	25%		事業所として企画して行うことは現状ありませんが、時期を見て検討も考えています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	75%	25%			予定次第では参加できない場合もあるが、専門機関が開催する研修等に積極的に参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%				日々のやり取りとして、送迎時や、電話、LINE、提供記録等を通じて理解の共有を図っています。また、モニタリング以外においても状況に応じて面談の時間を設定し、やり取りを行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	50%	50%			家庭内でのお困りごとに対してどう対応すべきかのご相談、ご意見については都度話をさせていただいています。
保	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%				契約時になるべく丁寧に説明することを心掛けております。また、ご不明な点があった場合は随時職員が説明するようにしております。

護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			面談時のほか、送迎時、お電話、LINEで常にお話を聞かせていただいております。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		50%	50%	各保護者様のご意見、ご希望を聞きながら検討させていただきたいと思っております。
非常時等の対応	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			苦情受付担当受付け者(児童発達支援管理責任者)と苦情解決責任者(管理者)を設定しております。苦情が発生した時には、スタッフ間において原因と改善策を考え、迅速に対応致します。ご意見、ご要望を受け止め職員で話し合い迅速に対応できるよう努めています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			毎月お便りを配布させていただいております。
	35	個人情報に十分注意しているか	100%			個人情報は鍵付きの書庫にて管理しております。また、契約時に取り交せていただいた個人情報の取扱いについて細心の注意を払って管理しております。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			保護者様との連絡手段はなるべく保護者さまの負担とならないように配慮し、児童には発達段階、発達状況にあった意思の疎通の工夫をしております。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		50%	50%	隣接する方たち全てと理解されて開かれた運営となると難しい方もいらっしゃるかもしれませんが、理解していただけるよう努めていきたいと思っております。
北	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%			マニュアルについて職員会議にて対応方法等の確認を行っております。マニュアルについても必要に応じて見直していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			可能な範囲で児童も参加の上、年に1回以上の総合訓練(通報訓練、避難訓練、消火訓練)の他、不審者対応の訓練を行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			虐待防止委員会を設置し定期的に会議を行なっております。委員会以外でも朝礼時等、常日頃から支援の中で虐待に該当していることがないかの確認を職員間で行っております。

非常時等の対応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%			該当するご利用者様が現状いない為、記録を取るといったことを行ったことはありませんが、各職員、何が拘束にあたるか周知しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%			強いアレルギーのあるお子様は現状いませんが、インテーク時保護者様と確認を取った情報を職員間で共有、おやつ等食品が置いてある場所に職員がすぐ確認できるよう注意点の掲示を行う等細心の注意を払っています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%			ヒヤリハットがあった場合報告書のほか、いつでも職員が見られるようノートを使用して共有しています。